

事情聴取調書

- 1 件名 板橋区立ホテル生態環境館について
- 2 被聴取者 資源環境部環境管理係 小角 博行(技能主任・再任用)
- 3 聴取者 総務部人事課長 木曾 博
総務部人事課人事係長 宮川 修一
総務部人事課人事係主査 豊田 岳彦
- 4 聴取日時 平成26年3月4日(火) 10時02分～11時42分
- 5 聴取場所 人事課面談室
- 6 聴取内容要旨

【聴取内容】

- ホテル施設に携わったのは、54歳から定年まで6年間、再任用として3年間。平成17年4月1日から9年間在籍している。
- 仕事の内容は、魚の水槽の水をかえたり、小屋を作ったり、電気を引っ張ってきたり。便利屋みたいな仕事をしていた。ホテルのことについては阿部主事が全て行っており、飼育には携わっていない。
- 区の職員3人、ボランティア等を含めるとホテル施設には計10名程度いた。
- ホテルに関することはよくわからない。ホテルの餌はカワニナで、カワニナの餌がわからない。ただし、カワニナの餌が特許に関わっているということは、阿部主事が言っていたので知っていた。
- ホテル施設で飼っている蜂は、私が仕事をしてからずっと飼っていた。朝霞の倉庫にもいた。武蔵野種苗園というところが蜂をやっていた。2、3年前に武蔵野種苗園が蜂から手を引いたので、ホテル施設に蜂を引き上げた。
能登でも蜂を育てていたが2、3年前にやめたと聞いている。能登からは研修のために人が来ていた。
- 武蔵野種苗園から引き上げてきた蜂の数はかなり多かった。それは研修棟にいた。私は蜂に刺されたくないのので、蜂には関わらなかった。
- 能登に行って教えていたということは聞いていない。
- 蜂を主に担当していたのは綾部さんという女性の人。蜂を研究して大学を卒業し、博士号をとっていると聞いている。
- 蜂が2、3年前大量に増えてから、減ったことはない。
- 当初、せせらぎ整備にも携わっていた。大田区の小学校や、東京駅の八重洲口の小学校など、何か所も行った。その時は阿部主事、綾部さん、菅野さんがいた。
菅野さんは阿部主事が電話したらすぐに来てくれて、なんでもやってくれる便利な人である。
- 小学校では、ホテルが棲めるような環境作りをしていた。それらは阿部主事に頼まれて行った。その間、施設の留守番はいた。
- 環境作りは、赤土を敷いて、軽石を置いて作った。
- それには業者は携わっていないと思う。
- 資材については、ホテル施設から持って行ったりしていた。資材の中に那智石もあった。ホテル

の幼虫についても持参している。

- せせらぎを作っているもホタルを維持するのは難しいと思う。仮にホタルが産まれても、別の場所に行ってしまう。都会では明るい方に行ってしまうので、尚更難しいと思う。
- 小学校に行くのは区の仕事なのか、ボランティアとしてやっているのかはわからない。
- 大田区の小学校には、私は3回程度行った。
- 飯田橋にある東京大神宮にも、せせらぎがある。たまに行って整備しないと汚れていってしまうので、何回か行っている。
- 学校から「ホタルが1、2匹しか出ない」という話を聞いたことがある。
- ホタルの夜間公開について、直前期に仕事が増えるということはなかった。ほとんどを阿部主事が行っていたので。

公開日にたくさんのホタルが出るように、幕を締めたりしながら調整していた。直近2~3年はうまくいっていたが、その前はダメな時期もあった。

その時は全員でホタルを起こすため団扇で扇いだりしていた。

- ホタルの成虫は、飛ぶ1カ月前に上陸してくる。そこで穴を掘っている。何千匹もいることについて、私は確認していない。阿部主事は確認していると思う。
- 苔は必要。人工的に雨を降らせているが、苔にある水をホタルが飲むため、苔を育てている訳ではないので仕入れている。せせらぎの中に苔を置いている。
- 施設の中では、ほとんどやることはない。整備されているので。
- ホタルの成虫を持ち込んだという話は聞いていない。ホタルは自前でやっている。
- カワニナを送ってもらったことはある。郵送方法はわからないが。
- ボランティアの仕事について、

①綾部さん … 蜂に関する仕事

②駒野さん … 綾部さんと同じく、蜂に関する仕事

③遠田さん … 蜂関係の容器などの洗い物をしていて、元板橋区職員。

●来客者は何人もいたが、それが誰だかはわからない。

●郵送するものの1つに蜂がある。能登町に蜂を送っていた。量はわからない。25センチぐらいの箱に入れて、その箱を複数個まとめて段ボールに入れて送った。郵便局の人が取りに来ていた。送る量は思ったほど多くないと思った。

●イノリー企画は、駒野さんや綾部さんが立ち上げた会社である。周りで話している雰囲気ではなかった。

ホタル施設にイノリー企画宛ての電話がかかってきたことはあると思う。いつ発足したかはわからない。

●人工透析をやっている。4月には心臓の手術をする予定。

●ホタル施設での気苦労はほとんどないが、ホタル施設でカラスを飼っていたが、そのカラスに突つかれたので物を投げたら、阿部主事が怒って自分のネクタイを引っ張った。その時はすごい剣幕だった。

その後、カラスが自分に逆らった時に、カラスを蹴ったこともあるが、それ以降、カラスは私に何もなくなり、呼べば来るようになった。人間以上に頭がいいと思った。

●行った場所が一番遠かったのは伊豆高原だったと思う。行くのはワンボックスのレンタカーを借りて行った。荷物は資材を買った業者が現地に送っている。業者名はわからない。他の人は泊まりで行ったが、自分は車で帰って来た覚えがある。

●静岡の修善寺にも行ったことがある。

●阿部主事から依頼されて行っていた。そのため、色々なところに行ったのは仕事だと思ってい

る。年休が何日残っている等も、全て阿部主事が管理しているため、自分は把握していなかった。

●むし企画がどのように給料を払っているのかはわからない。

●菅野さんと魚の飼い方で一度喧嘩をした。それから会わないようにしている。

●山下さんの仕事は、ゴミ出し、洗濯等。事務仕事はほとんどないと思う。みんなから毎月千円お金を集めて買い物をしていた。チラシの整理もしていた。

●伝票については、綾部さんが記入していた。

●ホテル施設に勤めている中で、おかしいと思ったことはあったが、今具体的には思い出せない。

●いろいろな物を作る際は、阿部主事から現金を渡されて、ホームセンターで購入して、領収書とおつりを阿部主事に渡していた。ホームセンターへは車で行っていた。

購入する品物で不思議なものを買ったという感覚はなかったが、パソコン用のインクをよく買っていた。

●役所の仕事内では現金を直接持って、やりとりをするということは少ないということは知っていたが、阿部主事から頼まれたものについては、疑問も持たず言われた通りやっていた。

●鉄パイプで2階建の小屋を作ったが、その材料費などは相当な金額だったと思う。何十万もかかった。あの小屋は私が何日もかけて一人で作った。

●小屋は資材置き場として作った。ただし、資材が入りきらず、外に置いてあるものもある。2階は蜂の道具を置いたり、作業場にもなっている。

●遠征する時、資材を持って行く量はまちまち。阿部主事に任せている。業者がトラックで資材を取りに来て、現地に運んでいる事もあった。

●阿部主事は最近、放射能に関する業務をしていたので、ホテルについてはあまりやらなくなっていた。ただし、手を抜いている訳ではない。

●ホテル公開日には、かなりのホテルが出ているので、昼間でも確認できるぐらいである。

●ホテルの死骸については、道に落ちていれば掃除をするが、それ以外のところは片づけるということはしてない。

●公開日の前には、苔の搬入が多くなる。

●小豆沢のマンション、戸田にあるビルの屋上にホテルを運ぶこともあった。運んだ量はそこまで多くはなかった。

●せせらぎの石を交換する作業は菅野さんがやっていて、私はやっていない。少しずつ作業をしている。購入はまとめて買い、1年かけて使う。

●留守番していると荷物を受け取ることもあった。中身是那智石とか。改良材があつて、サラサラした土もあつた。

●遠征して作業をした場合、お金をもらったというところは見ただけのことない。もしかしたらお茶菓子等があつたかもしれないが。

●阿部主事に頼まれ、ルシオラには何回も行ったことがある。経費ということでお金を受領し、持って行った事がある。何か購入する際もルシオラ名義で領収書をもらってきたりした。

ルシオラでは、深田さんという女性しか会ったことがない。ルシオラにものを持っていくときは封筒を持っていくことが多かった。中身についてはわからない。

●ルシオラには車で行っていた。

●むし企画の高久さんとはたまに会うぐらい。何をやっているかはわからない。

●蜂を送っている場所は能登町以外どこに送っているかわからない。

●千葉の広瀬さんが資材を搬入してくれる。ホテル施設に資材を搬入している。資材搬入以外

の目的で会うことはほとんどないと思う。

- (株)イセキという会社は知らない。MSという会社も知らない。
- カワニナはどこから来るかわからないが、段ボールに入ってくる。
- ボランティアの樋口さんは、夜ずっといる。留守番として来ていた。熱帯館時代、板橋がホテルをやめると言った時、阿部主事が「1人でもやる」と言っていたが、それを支えていた人である。
- 施設管理について、山下さん、遠田さん、阿部主事、樋口さん、綾部さん、駒野さん等全ての人がカードと鍵を持っていた。
- 施設内に阿部主事が寝る場所があったが、自分には机もなく、椅子しかなかった。自分は透析をしており、調子が悪い時もあるので、車を休憩スペースにしていた。
- 通勤届はバスであったが、車で通っていた。最初はバスだったが、途中から車で通っていた。いつからかは覚えていない。車通勤については、所属から注意されたことがある。

本調書は事情聴取の要旨である。

以上、その内容に相違ありません。

平成26年3月17日

資源環境部環境課管理係

小田 博行 (印)

総務部人事課長

木曾 博

総務部人事課人事係長(書記)

宮川 修一

総務部人事課人事係主査(書記)

豊田 岳彦